

視点(2295)

次世代型SC（第5世代SC）とは!!

(SC理論編)

— SC飽和期・モノ離れ期・ネット旺盛期に対応したSC —

次世代型SCとは、次の時代に対応したSCを意味します。

①SCの飽和時代に対応したSC

1つの固有マーケット（客から見て時間・距離の抵抗要因のないエリア）で、2つ以上のRSCが存在する状態で、客のSCへの選択肢が多様化して、客から見て「もう1つあって欲しいSC」でないと3つ目のSCが成立しない時代をSC飽和期と言います。アメリカでは1990年頃、日本では2010年頃が相当します。

②モノ離れ時代に対応したSC

消費行動は、物（財）から飲食・サービス・情報・エンターテインメント&レジャー・コンテンツへと非モノ（コト・イマ・トキ・ココ）へとモノ離れが深耕しています。モノ離れは統計的にアメリカで1970年、日本で1988年に起こりました。

③ネット旺盛時代に対応したSC

21世紀になってEコマースが急激に発展し、リアル店舗やSCを脅かす存在になりました。アメリカで2010年代、日本で2020年代が相当します。

以上の3つの経済及び流通及び消費現象が、SCの成立・成功のメカニズムに大きな影響を与えており、この3つの現象に対応したSCを「次世代型SC」と呼び、アメリカで現在進行中であり、日本で2020年以降に進行するSCです。

次世代型SCのポジショニングを明確にするため、SCの進化のプロセスを過去・現在・未来の視点から見ると次の通りです（戦闘機の進化を参考にしています）。

	SCの形態	SCのライフサイクル	時 期		参考:戦闘機の進化(比喻)		
			アメリカ	日 本			
第0世代	非SC (商店街・市場)	SC以前	1920年代 以前	1950年代 以前	プロペラ機	(音速以下)	
第1世代のSC	完成度の低い集積・ 駐車場付加型のSC	SCの黎明期	1920~ 1940年代	1960年代	F86	ジェット機化(SC化)	亜音速型
第2世代のSC	CSC	SCの成長期 (前半)	1950~ 1960年代	1970~ 1980年代	F104		超スピード型
第3世代のSC	多核モール型SC	SCの成長期 (後半)	1970~ 1980年代	1990年代	F4		攻撃強化型
第4世代のSC	多核モール・エンター テインメント型SC	SCの成熟期 (前半)	1990~ 2000年代	2000~ 2010年代	F15&F16		情報化型
第5世代のSC	次世代型SC	SCの成熟期 (後半)	2010年代 以降	2020年代 以降	F35&F22		ステレス型

第5世代の次世代型SCのテーマは次の通りです。

- ①タウンセンター&ライフスタイルセンター志向
- ②サードプレイス&ギャザリングプレイス志向
- ③地球・社会・地域・人間関連の課題解決によるサステナブル志向
- ④リアルショッピングとサイバーの融合によるネットネイティブ志向
- ⑤エンターテインメント&レジャー志向
- ⑥地域密着&地域交流志向

アメリカはSC先進国で、経済・流通・消費の動向の時代変化に対応してSCが進化しています。ヨーロッパはSCの飽和期を経験していないためSC間相互の激しい競争の中でSCの成立・成功のメカニズムに基づく「SCのマーケットデザイン理論」ができていません。その意味において、ヨーロッパを含むアメリカ以外はSC後進国です。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代 表 六 車 秀 之